

平成 29 年 4 月 4 日

鹿児島大学病院 整形外科・リウマチ外科 で

内軟骨腫の治療を受けた患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

鹿児島大学病院整形外科・リウマチ外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

内軟骨腫症例の手術成績に関する研究

【研究機関】

鹿児島大学病院 整形外科・リウマチ外科

【研究責任者】

鹿児島大学病院 整形外科・リウマチ外科

助教 佐々木裕美

【研究の目的】

内軟骨腫は、良性の骨腫瘍で軟骨細胞の増殖がみられます。発生原因は不明で、多くの場合無症状であることが多いのですが、軽微な外傷により病的骨折を起こすことがあります。中には無症状のまま、偶然レントゲンにて骨腫瘍を指摘されるケースもあります。治療は、今後の病的骨折のリスクを軽減するため、手術治療が選択されます。手術は骨内に存在する腫瘍組織を搔爬し、そのあとに人工骨を充填するのが一般的です。近年、良性骨腫瘍に対し、内視鏡を用いた搔爬術が徐々に広まっています。内軟骨腫は、手足の指骨に発生するこ

とが多いため、骨内を肉眼で十分観察することが難しい場合があります。そのため内視鏡を用いた腫瘍搔爬は有用であると考えています。また、内視鏡を用いることで傷が小さくてすみ、深部組織へのダメージが少なく、早期に日常生活に復帰できることが利点として挙げられます。当科にて内視鏡を用いて治療を行った内軟骨腫の患者さんの情報を集計し、従来の方法と比較・検討することで今後の患者さんの治療に役立てることが目的です。

【研究の方法】

この研究は後ろ向き研究です。対象となる患者さんの診療録（カルテ）から以下に示すような情報を抽出し、集計します。

●対象となる患者さん

H18年1月からH28年3月までに、鹿児島大学病院整形外科・リウマチ外科で内軟骨腫と診断され、内軟骨腫の治療を受けた患者さんを対象にしています。

●診療録（カルテ）から利用する情報

性別、年齢、腫瘍ができた部位、採血データ、手術前に行った画像検査の結果、病理診断、治療法、治療後の再発の有無

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科整形外科学分野の研究費（使途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 整形外科・リウマチ外科

助教 佐々木裕美

電話 099-275-5381 FAX 099-265-4699